

## 「手話」のこと

もうひとつの日本語です。

「手話」とは、手や指の動き、顔の表情などをを使って表現できる、もうひとつの日本語です。

独特な語彙と文法があります。

聞こえない人たちの生活・歴史の中で生まれ育ちました。

「身振り」や「ジェスチュア」ではありません

音声言語と同じ、自然な言語(ことば)です。

でも、手話は長い間「ことば」ではなく

「身振り」「ジェスチュア」と見られ、正しく理解されてきませんでした。

そのため、手話に対する差別や偏見もありました。

手話は「言語(ことば)」です。

アメリカの言語学者が手話には音声言語と同じように文法があることを発表しました。(昭和35年)

しかし、手話への理解が進まなかったこともあり、ほぼ半世紀を経て「障害者権利条約」で、ようやく手話が言語であると公的に認められました。(平成18年採択、平成26年批准)

日本でも改正障害者基本法(平成23年)で、手話が「言語」と位置付けられています。

いたばしく、れいわがねん、がつ、しゅわげんご  
板橋区では、令和元年6月に「手話言語条例」を制定しました。

(令和4年4月現在 447自治体で制定)

## 「盲ろう者」のこと

※盲ろう者とは、「目(視覚)と耳(聴覚)の両方に障がいがある人」のこと。

「盲ろう者」と一口に言っても、その障がいの状態や程度は様々です。

## 「触手話」のこと

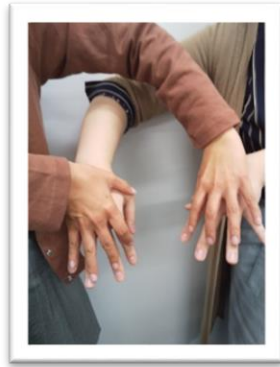
盲ろう者のコミュニケーション方法です。話し手が手話を表し、盲ろう者がその手に触れて伝えます。

この他に、「手書き文字」「指点字」「文字筆記」「点字筆記」などの方法があり、障がいの状態や程度によって方法が異なります。



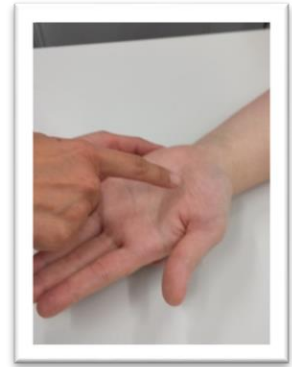
しよくしゆわ  
触手話

はな て しゆわ あらわ  
話し手が手話を表し、  
もう しゃ て ふ  
盲ろう者とその手に触れて  
つた ほうほう  
伝える方法



ゆびてんじ  
指点字

もう しゃ ゆび てんじ  
盲ろう者の指を点字タイプラ  
イターの6つのキーに  
み た さゆう ひとさ ゆび  
見立てて、左右の人差し指か  
くすりゆび ほん ゆび ちやくせつ  
ら薬指までの6本の指に直接  
う ほうほう  
打つ方法



て が もじ  
手書き文字

もう しゃ て ゆびさき  
盲ろう者の手のひらに指先な  
どでひらがなやカタカナ、  
かんじ か ことば  
漢字などを書いて言葉を  
つた ほうほう  
伝える方法

しゆってん どうきょうともう しゃとも かい  
[出典：東京都盲ろう者友の会]

に どう さ  
ジェスチュアに似てますが、こんな動作したことありますね。

しゆわ  
これも手話のひとつです

わたし



あなた



オーケー  
OK



だめ



た  
食べる



の  
飲む



あつ  
暑い



さむ  
寒い



# 「あいさつ」の手話をやってみよう！

## おはよう



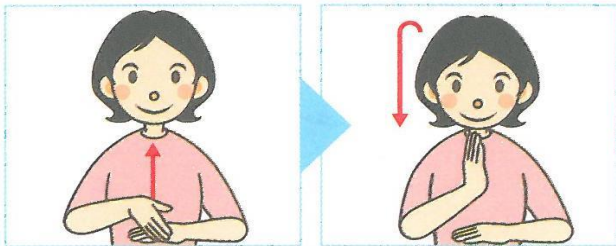
「朝」+「あいさつ」で表します。「朝」右手のこぶしを“まくら”のようにして頭をかたむけ、頭を起こすと同時に右手(まくら)を下げます。

## こんばんは



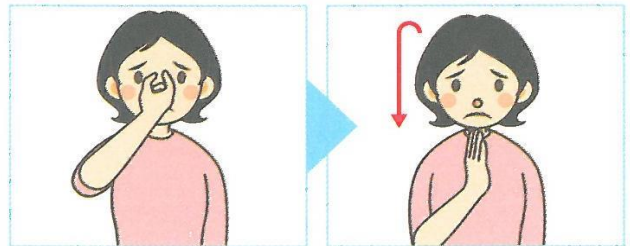
「夜」+「あいさつ」で表します。「夜」手のひらを前に向けて両手を顔の横に置き、顔の前で交差させます。目の前が見えないという表現で、“晩、夜、暗い”を表します。

## ありがとう



①左手の甲の上に右手を垂直にのせ、右手だけを上げます。②頭はおじぎをするように軽く下げます。

## ごめんなさい



①親指と人さし指で「みけん」をつまむようにします。②手を開き、指をそろえて上から下へ、軽く下ろしながら頭を下げます。

## 災害のときに使う手話



### あぶない



両手の指を折り曲げ(指の間を少し開く)、指先で胸をすばやく2回たたきます。片手だけでやる場合もあります。



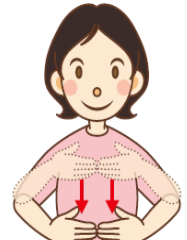
### に逃げる



両手をにぎり、交互にすばやく腕をふります。走って逃げるときのしぐさですが、に逃げるしぐさにはいろいろあるので、表現が変わることもあります。



### あんしん 安心



両手のひらを胸にあて、なでおろします。

しゅわ  
手話のなりたち

**1** かたち 形から

**山**

やまのかたちを片手で動かします。

**家**

両手で屋根の形を作ります。

**2** どうさ ほうこう いち 動作の方向や位置から

**きのう**

人さし指を顔の後ろに動かすと「きのう」、

**あした**

顔の前に動かすと「あした」になります。

**3** つか い かた かんよう く 使いなれた言い方(慣用句)から

**びっくり**

両手の5本の指を折り曲げて両目に向け、同時にすばやく前へ引きます。びっくりして「目玉が飛び出る」表現からきています。

**4** かお ひょうじょう 顔やからだの表情から

**うそ**

右手の人さし指で、ほほをつきます。怒った顔だと「よくもうそを言ってだましたな!」という意味になります。また、「あれはうそだよ」と伝えるときや、「それはうそだろ」というニュアンスのときに片目をつぶることがあります。

出典『東京都福祉保健局「話そう！手のことば～おもてなしの手話～」  
(承認番号：4福保障計第510号)』

よびちじ  
指文字 50音を表現できます。日本語の「かな」にあたるものです。

<b>あ</b> 手の形が、相手から見て「あ」の形。 アルファベットの指文字「A」から。	<b>か</b> アルファベットの指文字「K」から。	<b>さ</b> アルファベットの指文字「S」から。	<b>た</b> アルファベットの指文字「T」の数形。	<b>な</b> アルファベットの指文字「N」から。	<b>は</b> アルファベットの指文字「H」から。	<b>ま</b> アルファベットの指文字「M」から。	<b>や</b> アルファベットの指文字「Y」から。
--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

<b>い</b> アルファベットの指文字「I」から。	<b>き</b> キツネを表しています。	<b>し</b> 数字の手話「7」から。	<b>ち</b> チに似ていることから、数字の手話「千」。	<b>に</b> 数字の手話「2」から。	<b>ひ</b> 数字の手話「1」から（ひい、ふう、まいの「ひ」）。	<b>み</b> 数字の指文字「3」、または「ミ」の字形から。	<b>ゆ</b> 温泉（おんせん） 温泉マーク「ゆ」から。
-------------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------------	-------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

<b>う</b> アルファベットの指文字「U」から。	<b>く</b> 数字の手話「9」から。	<b>す</b> カタカナの「ス」の字形から。	<b>つ</b> カタカナ「ツ」の字形から。	<b>ぬ</b> 「盗む」を示すしぐさから。	<b>ふ</b> 自分から見てカタカナの「フ」の形。	<b>む</b> 数字の指文字「6」から。	<b>よ</b> 数字の指文字「4」から。
-------------------------------	-------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------------	--------------------------	--------------------------

<b>え</b> アルファベットの指文字「E」から。	<b>け</b> 敬礼するときの手の形から。	<b>せ</b> 「いちばん青の高い指」から。	<b>て</b> 「手」を示しています。	<b>ね</b> 木の根の形から。	<b>へ</b> ひらがなの「へ」の形。	<b>め</b> つぶれた丸が「目」の形。
-------------------------------	---------------------------	----------------------------	-------------------------	----------------------	-------------------------	--------------------------

<b>お</b> アルファベットの指文字「O」から。	<b>こ</b> カタカナの「コ」の一部から。	<b>そ</b> 「それ」を指す動作から。	<b>と</b> 「〜と」の2つの物の意味。	<b>の</b> カタカナの「ノ」の字形から。	<b>ほ</b> 船の帆を表しています。	<b>も</b> 「〜も同じ」の手話から。
-------------------------------	----------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------------	-------------------------	--------------------------

※このペンフレットは、東京都の許諾を得て板橋区が発行しています。ダウンロードは自由です。営利目的利用は禁じます。

<p><b>ら</b></p> <p>アルファベットの指文字 「R」から。</p>	<p><b>わ</b></p> <p>アルファベットの指文字 「W」から。</p>	<p><b>り</b></p> <p>自分から見て「U」と 書きまます。</p>	<p><b>を</b></p>	<p><b>る</b></p> <p>相手から見て「U」の形。</p>	<p><b>ん</b></p> <p>「お」と同じ形を作り、 自分のほうへ引きます。</p>	<p><b>ろ</b></p> <p>カタカナの「ロ」の一部。</p>	<p><b>1</b></p> <p><b>長音</b></p> <p>カタカナ「ロ」の 字形から。</p>
<p><b>っ</b></p> <p><b>促音</b></p> <p>例：っ</p>	<p><b>や</b></p> <p><b>拗音</b></p> <p>例：や</p> <p>小さい「わ」。 「つ」の指文字を 自分のほうへ引きます。</p>	<p><b>よ</b></p> <p><b>拗音</b></p> <p>例：よ</p> <p>小さい「わ」など。 もとの指文字を 自分のほうへ引きます。</p>	<p><b>濁音</b></p> <p>例：だ</p> <p>「だ」「か」など。 もとの指文字を横へ 10cmくらい動かします。</p>	<p><b>1</b></p> <p><b>長音</b></p> <p>「クーキ」のようにのぼす音。 欠さし指で上から下へ線を引きます。</p>			

<p><b>1</b></p> <p>欠さし指を 上にのぼします。</p>	<p><b>6</b></p> <p>手の甲を前に向けて、 親指を上、欠さし指を 横にのぼします。</p>	<p><b>十</b></p> <p>欠さし指を立てて「1」を作り、 のびた指を折り曲げ、 少し右にずらします。</p> <p>例：10</p>
<p><b>2</b></p> <p>欠さし指と中指を 上にのぼします。</p>	<p><b>7</b></p> <p>手の甲を前に向けて 親指を上、欠さし指と 中指を横にのぼします。</p>	<p><b>百</b></p> <p>欠さし指を横にのぼしてから、 はね上げます。</p> <p>例：100</p>
<p><b>3</b></p> <p>欠さし指、中指、薬指を 上にのぼします。</p>	<p><b>8</b></p> <p>手の甲を前に向けて、 親指を上、小指以外の 3指を横にのぼします。</p>	<p><b>千</b></p> <p>小指をのぼし、他の指をつけます (10か3つを数えます)。 その形のまますぐに少しずらします。 ※欠さし指を横にして「千」の形を描く方法もよく使われます。</p> <p>例：1000</p>
<p><b>4</b></p> <p>親指以外の4本を 上にのぼします。</p>	<p><b>9</b></p> <p>手の甲を前に向けて、 親指を上、それ以外の 4指を横にのぼします。</p>	<p><b>万</b></p> <p>「1」を作り、指先を前に向けて5本の指をつけます。</p> <p>例：1万</p>
<p><b>5</b></p> <p>こぶしを作り、親指のみ 横にのぼします。</p>	<p><b>0</b></p> <p>手の甲を前に向けて、 指全体で輪を作ります。</p>	<p><b>億</b></p> <p>「1」を作り、手のひらを少し開き、 手前に引きながらにぎります。</p>